

愛媛県肱川で得られたテングヨウジ

辻 幸一¹・松田久司²

¹ 南予生物研究会

² NPO 法人 かろうそ復活プロジェクト



写真1 *Microphis (Oostethus) brachyurus brachyurus* テングヨウジ (TKPM-P 27535) 上: 全身, 下: 頭部 (同一個体)

種の記録

Syngnathidae ヨウジウオ科

Microphis (Oostethus) brachyurus brachyurus (Bleeker, 1854) テングヨウジ (写真1)

標本 徳島県立博物館魚類標本 (TKPM-P) 27535.
標準体長 92.4mm. 採集年月日: 2025 年 7 月 12 日.
採集場所: 愛媛県大洲市長浜町下須戒 肱川大和橋
下流 (33.3544N, 132.2946E). 採集方法: タモ網.

種の特徴

体は体輪状骨板に覆われて細長く、尾鰭がある。尾部は躯幹部より短い。口は小さく管状で、吻長は頭長の 59.0%。主鰓蓋骨の縦走隆起線は明瞭。躯幹部と尾部の上隆起線・下隆起線はどちらも不連続、躯幹部輪数 21、総輪数 44。背鰭 42 軟条、臀鰭 4 軟条、胸鰭 21 軟条。

備考

標本個体の上記の特徴は瀬能(2013)のテングヨウジの特徴に一致したため本種と同定した。本種は黒潮の影響を受ける沿岸に広く分布し、県内では宇和海沿岸の愛南町惣川、宇和島市岩松川、八幡浜市 2 河川から報告がある(高木ほか, 2010; 辻, 2015; 辻・松田, 2016)。瀬戸内海において本種は東部に位置する兵庫県の 3 河川(千種川, 明石川, 洲本川)と大阪湾周辺(大和川, 泉州地域)から標本に基づく記録がある(波戸岡・花崎, 2017; 花崎, 2018; 土井ほか, 2024; サイエンスミュージアムネット [\[net.kahaku.go.jp/\]\(https://science-net.kahaku.go.jp/\): 2025 年 10 月 18 日参照\)。本報告は瀬戸内海西部に位置する伊予灘流入河川からの標本に基づく初めての記録である。](https://science-</p></div><div data-bbox=)

引用文献

- 土居敏男・永田惇人・小田隆司. 2024. 兵庫県明石市(明石川)におけるテングヨウジの初記録. 兵庫陸水生生物, (74): 55–58.
- 花崎勝司. 2018. 大阪府泉州地域における河川河口域の魚類. きしわだ自然資料館研究報告, (5): 19–26.
- 波戸岡清峰・花崎勝司. 2017. 瀬戸内海産魚類標本目録. 大阪市立自然史博物館, 大阪市. 204pp.
- 瀬能 宏. 2013. ヨウジウオ科. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 東京. 615–635, 1909–1913.
- 高木基裕・平田智法・平田しおり・中田 親. 2010. えひめ愛南お魚図鑑. 創風舎出版, 松山. 249pp.
- 辻 幸一. 2015. 愛媛県岩松川水系の魚類相. 徳島県立博物館研究報告, (25): 1–25.
- 辻 幸一・松田久司. 2016. 愛媛県八幡浜市の淡水魚類. 南予生物. 18: 1–25.

(2025 年 10 月 21 日受付, 2025 年 10 月 22 日公開)

連絡先: 辻 幸一 (e-mail: tuzihaze2@gmail.com)
(Kouichi Tsuji and Hisashi Matsuda. 2025. Record of *Microphis (Oostethus) brachyurus brachyurus* (Syngnathidae) from Hiji River, Ehime Prefecture. NS fieldnote, 25025)